



日本ヘルニア学会・沖縄支部主催

# 第5回 沖縄ヘルニア研究会



日 時 2018年2月10日(土曜日)  
13:00～18:00(12時30分より受付開始)  
会 場 沖縄県医師会館  
沖縄県南風原町新川218-9 TEL 098-888-0087  
当番世話人 友利健彦(沖縄赤十字病院 外科)

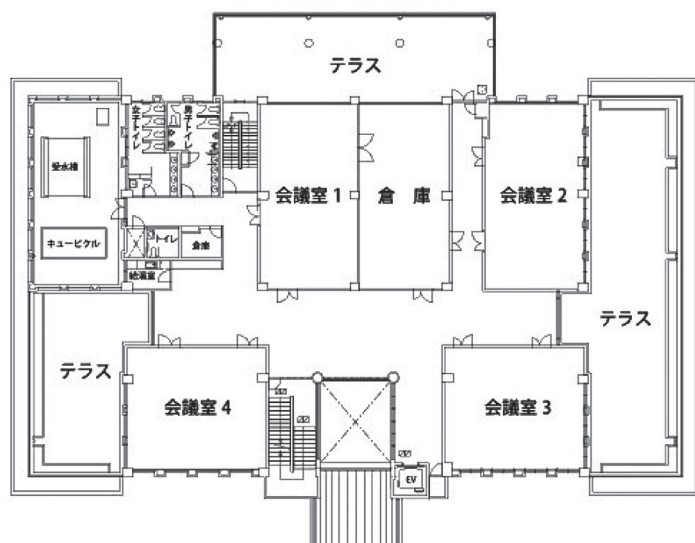
## 会場までの案内図



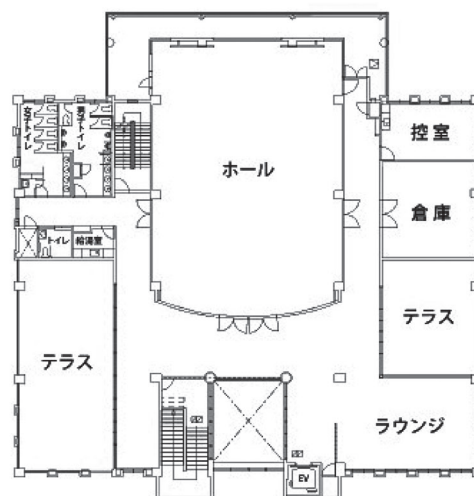
## 会場内の案内図

### 沖縄県医師会館

2 階 会議室 3：世話人会及び懇親会会場



3 階 ホール：研究会会場



# 日本ヘルニア学会沖縄支部主催 「第 5 回沖縄ヘルニア研究会」の開催にあたって



当番世話人 友利健彦（沖縄赤十字病院 外科）

第 5 回沖縄ヘルニア研究会の当番世話人の友利健彦です。2014 年 1 月に研究会発足後の 5 回目の節目の研究会に当番世話人を仰せつかり、緊張しつつも実りある研究会にと考えております。

鼠径ヘルニアは年齢に関係なく症例の多い疾患で、昨今では多くの施設で腹腔鏡手術が行われるようになってきています。しかしまだまだ鼠径部切開法を行うことも多く、その際に解剖学的な理解等足りない点があると思います。そこで今回はヘルニア手術の原点に帰って、鼠径部切開法で数多くの症例のご経験を有しているお二人の先生に特別講演をお願い致しました。お一人目はみやざき外科・ヘルニアクリニックの宮崎恭介先生です。宮崎先生は本年 6 月 29・30 日に開催されます第 16 回日本ヘルニア学会の会長を務められます（皆さんのご参加をお願いします）。お二人目は多根総合病院の丹羽英記先生です。両先生とも鼠径部切開法の第一人者で日帰り手術を数多く経験しておられます。お二人のご講演は若い先生方だけではなく、経験豊富な医師も明日からの診療に役立つ知識を得られると考えております。

一般演題も多くの施設より登録していただきました。心より感謝申し上げます。

研究会で皆様とともに学ぶことにより、「沖縄県における腹部ヘルニアの医療技術・学問的研究の向上をめざし、よりハイクオリティなヘルニア医療を広く県民に提供する」という当会の趣旨の一助となればと考えておりますので、多くの先生方のご参加をよろしくお願い申し上げます。

最後に、本研究会を開催するにあたり多大なご尽力をいただきましたハートライフ病院髙原・西原先生、また沖縄赤十字病院の外科及び事務スタッフをはじめとする関係各位の全面的なご協力・ご支援に感謝申し上げます。

## ご参加の皆様へ

1. 参加費は 1,000 円です。受付にてお支払いください。  
ただし、初期臨床研修医、コメディカル、看護師は無料です。記帳をお願いします。
2. 受付は 12 時 30 分より開始いたします。

## 懇親会のご案内

研究会終了後、2 階第 3 会議室にて懇親会を開催いたします。  
皆様ふるってご参加ください。

## 演者の皆様へ

1. 発表はすべて講演です。PC にてお願いいたします。
2. PC 発表上の注意点
  - (1) 発表用 PC と電源アダプターをご持参ください。
  - (2) ミラーリング設定を事前に行ってください。
  - (3) スクリーンセーバー、省電力等の設定はお切りになってください。
  - (4) 発表データは念のため、CD-ROM または USB メモリースティックにてお持ちください。
  - (5) Macintosh を使用される場合は必ず D-Sub15 ピン変換コネクタをご持参ください。
3. 一般演題の発表時間は次の通りです
  - (1) 発表 6 分 討論 4 分（1 演題 10 分）です。
4. 演者の方は発表の 30 分前までに受付にて PC の動作状況をオペレーターと共に確認してください。
5. 事務局の PC の動作確認をご希望の方は、Windows7/powerpoint2013 です。

## 座長の皆様へ

1. セッション開始 10 分前までには次座長席におつきください。
2. 時間厳守での進行にご協力をお願いします。

## 世話人の皆様へ

1. 12 時 30 分より世話人会を沖縄県医師会館 2 階 第 3 会議室にて行います。  
ご出席をお願いいたします。

# プログラム

開 会 挨 拶 13:00～13:05

当番世話人 友利 健彦（沖縄赤十字病院 外科）

## 【Sponsor's Presentations】13:05～13:25

座長 西原 実（ハートライフ病院 外科）

・新しいメッシュ固定具 Capsure のご紹介～ Strong/Secure/Less Adhesion ～  
株式会社 メディコン 中園太朗

・最新型電気メス「FT10」のご紹介  
コヴィディエンジャパン 株式会社 末松修二

・ウルトラプロメッシュ  
ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社 神山芳美

・新型内視鏡ビデオシステム／ジョイスティック操作型 3D ビデオスコープについて  
オリンパス 株式会社 河合 淳

## 【一般演題 セッションⅠ】

13:25～14:15 座長 新垣 淳也（浦添総合病院 外科）

I - 1. 両側鼠径ヘルニアがあり、右側は大網が嵌頓し巨大であった1例  
〈沖縄県立北部病院〉  
田本秀輔、坂本眞之介、加我 徹、八幡浩信、嘉陽宗史

I - 2. 腹腔鏡併用手術を施行した鼠径ヘルニア偽還納の1例  
〈北部地区医師会病院 外科〉  
林 裕樹、赤松道成、宮平 礼、堤 綾乃、木村研吾、野里栄治、照屋 淳

I - 3. TAPP（transabdominal preperitoneal approach）にて修復した、  
両側にⅠ型とⅢ型ヘルニアが併存していた一例  
〈琉球大学医学部附属病院 第一外科〉  
上里安範、尾下陽大、高橋 遼、狩俣弘幸、白石祐之、西巻 正

I - 4. 腹臥位 CT にて診断し TAPP 法で修復した鼠径部膀胱ヘルニアの1例  
〈沖縄赤十字病院 外科〉  
金城章吾、友利健彦、仲里秀次、豊見山 健、長嶺信治、宮城 淳、佐々木秀章、永吉盛司、  
大嶺 靖

I - 5. 腹膜陥凹のない腹膜外型膀胱ヘルニアの2症例の経験  
〈中頭病院 外科〉  
小倉加奈子、辺土名克彦、稲津大輝、林 圭吾、堤 真吾、卸川智文、間山泰晃、大森敬太、  
當山鉄男、大城直人

## 【特別講演Ⅰ】

14:15～15:15 座長 友利 健彦（沖縄赤十字病院 外科）

演者 宮崎 恭介（みやざき外科・ヘルニアクリニック）

演題 鼠径部ヘルニアに対する日帰り手術の実際～6,000例の経験から

《休憩 15:15～15:30》

## 【一般演題 セッションⅡ】

15:30～16:20 座長 仲地 厚（豊見城中央病院 外科）

Ⅱ－1. 当院における腹腔鏡下腹壁ヘルニア修復術の経験

〈浦添総合病院 消化器病センター外科〉

本成 永、亀山眞一郎、新垣淳也、神部宏幸、拜殿明奈、谷口春樹、堀 義城、佐村博範、伊志嶺朝成、長嶺義哲、古波倉史子

Ⅱ－2. 股関節痛の原因が両側閉鎖孔・両側大腿ヘルニアであった関節リウマチの1例

〈豊見城中央病院 外科〉

仲地 厚、知念澄志、辻村一馬、安里昌哉、澤岷安勝、大田守仁、嵩下英次郎、比嘉国基、我喜屋 亮、照屋 剛

Ⅱ－3. 前立腺癌術後鼠径ヘルニアに対する新しいKugel変法について

〈多根総合病院 日帰りセンター〉

渡瀬 誠、小川 稔、山口拓也、上村佳央、丹羽英記

Ⅱ－4. 当科で行っている鼠径ヘルニアに対する膨潤局所麻酔法を併用した

腹腔鏡下ヘルニア修復術（t-TAPP）について

〈門司メディカルセンター 外科〉

松村 勝

Ⅱ－5. 膨潤TAPP法における手順の工夫

〈社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院 ヘルニアセンター〉

西原 実、国吉史雄、嵩原裕夫

## 【特別講演Ⅱ】

16:20～17:20 座長 嵩原 裕夫（ハートライフ病院）

演者 丹羽英記（多根総合病院 院長）

演題 「鼠径部ヘルニアに対する最適な術式、理解すれば簡単クーゲル法」

代表世話人挨拶 17:20～17:25

嵩原 裕夫（社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院）

閉会挨拶 17:25～17:30

当番世話人 友利 健彦（沖縄赤十字病院）



## I-1 両側鼠径ヘルニアがあり、右側は大網が嵌頓し巨大であった 1 例

沖縄県立北部病院／外科

田本秀輔、坂本眞之介、加我 徹、八幡浩信、嘉陽宗史

患者 73 歳男性で、右陰嚢腫大を主訴に当科を受診した。10 ヶ月前から陰嚢腫大を自覚し、数週間程前からウェットスーツを着用すると疼痛も伴うようになった。来院時陰嚢は小児頭大に腫脹し、陰茎は埋没していた。CT では脂肪濃度の内容物が充満した右鼠径ヘルニアを認め、左側にも鼠径ヘルニアを認めたため、両側鼠径ヘルニアと診断した。整復はできなかったが、症状がないため待機的手術の方針とした。TAPP 法で手術開始したところ、嵌頓しているのは大網であった。牽引に加えて注水法や前方からの用手圧排も組み合わせたが還納できず、鼠径部前方から T 字に切開を加え鼠径靱帯を解放することでようやく大網を陰嚢から引き出すことができた。

右は Liechtenstein 法、左は TAPP 法で修復した症例を経験したので、若干の文献的考察を加えて報告する。

## I-2 腹腔鏡併用手術を施行した鼠径ヘルニア偽還納の 1 例

北部地区医師会病院／外科

林 裕樹、赤松道成、宮平 礼、堤 綾乃、木村研吾、野里栄治、照屋 淳

症例は 59 歳男性。左鼠径部痛を主訴に外来受診。左鼠径ヘルニア嵌頓の診断で用手還納し、後日待機手術の予定で帰宅した。同日夜に腹痛、悪心を主訴に救急再受診。鼠径部に腹腔内臓器の脱出は無かったが腹部膨隆を認めた。CT にて左鼠径部近傍の腹腔内に球状に限局された小腸と腹水を認め、鼠径ヘルニア偽還納が疑われ緊急手術を施行。鼠径部から前方アプローチを行い併存型の所見を認めた。前方からの視野では偽還納の所見が確認できず Direct Kugel Patch® で修復後に腹腔鏡下に観察した所、肥厚腹膜がヘルニア門となり小腸を絞扼している所見を確認し絞扼を解除した。腸切除は要しなかった。術後経過は良好で術後 5 日目に退院となった。鼠径ヘルニア偽還納に対して低侵襲で詳細な検索が可能な腹腔鏡併用手術は有用であると考えられた。

### 〈MEMO〉

## I-3 TAPP (transabdominal preperitoneal approach)にて修復した、両側にI型とⅢ型ヘルニアが併存していた一例

琉球大学医学部附属病院／第一外科

上里安範、尾下陽大、高橋 遼、狩俣弘幸、白石祐之、西巻 正

症例は80代男性。右鼠径部の腫脹、疼痛を主訴に当院救急外来を受診し、腹部造影CTにて右鼠径ヘルニア嵌頓と診断された。腹部造影CTでは明らかな腸管壊死所見なく、当科にて用手還納を行った後に緊急入院、経過観察を行い一旦退院とした。その後待機的に手術(TAPP; transabdominal preperitoneal approach)を施行した。術前画像ではI型の右鼠径ヘルニアと診断していたが、腹腔内を観察すると右側にI-3型とⅢ型ヘルニアが、左側にI-2型とⅢ型が併存していたため、両側とも修復術を施行した。同時性両側併存型ヘルニアは非常に稀であり、本症例のような不顕性のヘルニアは術前診断が非常に困難である。脆弱化した両側鼠径部領域を正確に確認・補強できる腹腔鏡下手術は非常に有用であった。

## I-4 腹臥位CTにて診断しTAPP法で修復した鼠径部膀胱ヘルニアの1例

沖縄赤十字病院／外科

金城章吾、友利健彦、仲里秀次、豊見山 健、長嶺信治、宮城 淳、佐々木秀章、永吉盛司、大嶺 靖

症例は55歳男性。1年前より右下腹部から陰嚢にかけての腫脹と、尿意が強くなったとのことで当科外来受診。表在超音波検査にて右鼠径ヘルニアを認め、腹臥位CTにて膀胱が脱出しており、鼠径部膀胱ヘルニアの診断となった。手術はTAPP法で行い、ヘルニア分類I-3型で腹膜側型の膀胱ヘルニアを認め、滑脱した膀胱を損傷しないよう剥離し、ヘルニアをメッシュにて修復した。経過良好にて術後3日目に退院となり、術後8ヵ月で再発は認めていない。

術前の腹臥位CTは鼠径ヘルニアの精査だけではなく、膀胱ヘルニアの診断にも有用であり、術前に膀胱ヘルニアの診断がついていればTAPP法でも安全に手術可能であると思われた。

〈MEMO〉



## Ⅱ－１ 当院における腹腔鏡下腹壁ヘルニア修復術の経験

浦添総合病院／消化器病センター外科

本成 永、亀山眞一郎、新垣淳也、神部宏幸、拜殿明奈、谷口春樹、堀 義城、佐村博範、伊志嶺朝成、長嶺義哲、古波倉史子

当院では2014年1月より腹腔鏡下腹壁ヘルニア修復術（laparoscopic ventral hernia repair；LVHR）を導入し、現在までに13例経験したので報告する。

手術は、最初のポートをopen法で挿入し、計3本で開始、必要に応じて適宜追加し行っている。メッシュは上下左右4か所を非吸収糸で腹壁に吊上げ、吸収性タッカーでメッシュ外縁とヘルニア門周囲をそれぞれ全周性に固定している。

患者背景は男性4例、女性9例、平均年齢67.3歳（58-82歳）、平均BMI29.6kg/m<sup>2</sup>（21.9-38.7kg/m<sup>2</sup>）、ヘルニア門長径の中央値は6cm（2.5-14cm）であった。手術時間、出血量、術後在院期間の中央値はそれぞれ122分（65-306分）、5g（1-30g）、7日（3-28日）で、合併症は認めなかった。術後観察期間の中央値は3か月（1-25か月）であるが、現在のところ再発を認めていない。

LVHRは低侵襲で安全に行うことができる術式であり、特に肥満症例やヘルニア囊の大きなヘルニアで病変部位を腹腔内より確認できることに有用性を感じた。

## Ⅱ－２ 股関節痛の原因が両側閉鎖孔・両側大腿ヘルニアであった関節リウマチの１例

豊見城中央病院／外科

仲地 厚、知念澄志、辻村一馬、安里昌哉、澤岷安勝、大田守仁、嵩下英次郎、比嘉国基、我喜屋 亮、照屋 剛

【はじめに】股関節痛は筋骨格系疾患と膠原病の症状として出現する場合が多い。関節リウマチ治療中の股関節痛に対して閉鎖孔ヘルニアと診断手術した症例を報告する。【症例】60歳代、女性。主訴は左股関節痛と左大腿部痛。虫垂切除歴と関節リウマチ治療中。約3年前に左大腿部痛が出現し近医整形を受診。左股関節の内外旋で股関節、膝関節痛が誘発。MRIで左股関節筋壊死が疑われたが症状軽快し保存的治療。経過中に開脚位で両側股関節痛が出現し左股関節痛が再度出現し当院紹介。両側閉鎖孔ヘルニアと診断し腹腔鏡下手術（TAPP）を施行。両側閉鎖孔ヘルニアと両側大腿ヘルニアであった。手術時間2時間11分。股関節痛は消失し1年経過。【まとめ】両側閉鎖孔・大腿ヘルニアに腹腔鏡下手術を施行した。

〈MEMO〉

## Ⅱ－３ 前立腺癌術後鼠径ヘルニアに対する新しい Kugel 変法について

多根総合病院／日帰りセンター

渡瀬 誠、小川 稔、山口拓也、上村佳央、丹羽英記

当院は成人鼠径ヘルニアを6年間（2011-2016年）で約5000肢経験するハイボリュームセンターであり、全国から再発、絞扼性、術後疼痛、前立腺癌術後などの手術困難例の紹介を受けるが、全て Kugel 法を第一選択にしている。特に前立腺癌術後鼠径ヘルニアに対しては、通常の Kugel 法だけでなく Kugel 変法と称して、従来の Kugel 法に準じて後方アプローチを行い腹膜前腔にダイレクトクーゲルパッチを挿入しヘルニア門を閉鎖する変法①、前腔側からライトメッシュプラグをヘルニア門に挿入し閉鎖する変法②を施行し、大きな合併症、再発なく良好な結果を得ている。前立腺癌術後の鼠径ヘルニア手術は、腹腔鏡手術、ダイレクトクーゲル法など腹膜前腔の剥離を要する手術手技は非常に困難であるが、Kugel 法に精通すると Kugel 法に準じて後方アプローチにより直視下に剥離が可能であることが多く、様々な工夫が可能である。Kugel 法を習得すればあらゆるヘルニア手術に応用可能であり外科医にとっては必須の手術方法である。

## Ⅱ－４ 当科で行っている鼠径ヘルニアに対する膨潤局所麻酔法を併用した腹腔鏡下ヘルニア修復術（t-TAPP）について

門司メディカルセンター／外科

松村 勝

鼠径部ヘルニアに対する腹腔鏡下手術は、2012年の診療報酬改定により保険点数が大幅にアップしたことを受けて術式として導入する施設が増えた。

当科では2014年4月から鼠径部ヘルニアに対して、膨潤局所麻酔法を併用した腹腔鏡下ヘルニア修復術（t-TAPP）を第一選択の術式として導入した。本術式は、これまで鼠径部切開法に使用されていた膨潤局所麻酔法を、2010年に徳村らがTAPPに応用した方法であり、組成は生食180ml＋1%カルボカイン20ml＋エピネフリン0.1mlである。

その術式は、膨潤局所麻酔液を経皮的にHesselbach三角と内鼠径輪外側背側と腹側の腹膜直下に約40ml注入し、十分に腹膜を膨化させた後に腹膜を切開する。ヘルニアサックは抜去を基本とし、メッシュは片側ではself gripping meshを、両側は各種メッシュ＋タック固定としている。膨潤局所麻酔法の利点は、腹膜の膨化により腹膜の剥離が容易になる・エピネフリンの効果により微細な出血を抑制できる・エネルギーデバイスが不要・局所麻酔薬により術後の疼痛を抑制できる、などであり。

当科で定型化したt-TAPPと最近のこだわり、演者の手術成績を提示する。

### 〈MEMO〉

社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院／ヘルニアセンター  
西原 実、国吉史雄、嵩原裕夫

### 〈手術手順〉

1. 膨潤液をヘルニア門の右側、腹側、左側、背側の順に 5ml ずつ計 ml を注入
2. ヘルニア門周囲の腹膜をリング状に切開
3. 内側の剥離（Hesselbach 三角から Cooper 靱帯、腹横筋腱膜弓、腹直筋外側縁を露出）
4. 外側の剥離（腹横筋を露出）
5. 腹側の剥離（下腹壁動静脈を可及的に露出）
6. 背側の剥離（精巣動静脈、精管を露出）
7. 3D メッシュ中を留置し、タッカーにて下腹壁動静脈を挟むように腹横筋腱膜腱膜へ 2 カ所、腹直筋外側縁に 1 カ所、Cooper 靱帯へ 1 カ所、外側腹横筋腱膜へ 2 カ所固定
8. 腹膜は PDS3-0 にて右側から左側へ連続縫合にて閉鎖

現在はこの手順だが、未だ試行錯誤の連続であり、今後も工夫が必要と考える。

〈MEMO〉

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

## 特別講演 I

# 鼠径部ヘルニアに対する日帰り手術の実際 ～ 6,000 例の経験から

演 者：宮崎恭介（みやざき外科・ヘルニアクリニック 理事長・院長）  
座 長：友利健彦（沖縄赤十字病院 外科）

### 演者プロフィール

宮崎恭介（みやざき きょうすけ）

医療法人社団 みやざき外科・ヘルニアクリニック 理事長・院長

聖マリアンナ医科大学 消化器・一般外科 臨床教授

#### 【学歴】

平成 3 年 3 月 聖マリアンナ医科大学医学部卒業

#### 【学位】

平成 9 年 12 月 医学博士取得 北海道大学

#### 【資格】

日本外科学会指導医

日本消化器外科学会専門医・指導医

日本麻酔科学会麻酔科標榜医

日本胸部外科学会認定医

インфекションコントロール（ICD）認定医

日本乳癌学会認定医

マンモグラフィ読影認定医

日本消化器外科学会・消化器がん外科治療認定医

#### 【略歴】

平成 3 年 3 月 聖マリアンナ医科大学医学部卒業

平成 3 年 6 月 医療法人社団 新日鐵室蘭総合病院 外科医員

平成 4 年 6 月 栗山赤十字病院 外科医員

平成 5 年 6 月 財団法人 小児愛育協会附属 愛育病院 外科医員

平成 6 年 6 月 北海道大学医学部附属病院 第 2 外科医員

平成 9 年 4 月 医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 外科医長

平成 15 年 4 月 みやざき外科・ヘルニアクリニック開院 院長

平成 17 年 7 月 医療法人社団みやざき外科・ヘルニアクリニックに変更  
理事長・院長（現在に至る）

平成 22 年 8 月 聖マリアンナ医科大学 消化器・一般外科 非常勤講師

平成 26 年 8 月 聖マリアンナ医科大学 消化器・一般外科 臨床教授（現在に至る）

#### 【学会役員・委員】

日本短期滞在外科手術研究会世話人

日本ヘルニア学会評議員

## 特別講演Ⅱ

# 鼠径部ヘルニアに対する最適な術式、理解すれば簡単 クーゲル法

演 者：丹羽英記（多根総合病院 院長）  
座 長：髙原裕夫（ハートライフ病院）

### 演者プロフィール

丹羽英記（にわ ひでき）

多根総合病院 院長

大阪市立大学医学部 臨床教授

#### 【学歴】

昭和 55 年 3 月 大阪大学医学部卒業

#### 【学位】

医学博士取得 大阪大学

#### 【資格】

日本外科学会認定医・専門医・指導医

日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医

日本内視鏡外科学会技術認定医

#### 【略歴】

昭和 55 年 3 月 大阪大学医学部卒業

昭和 55 年 4 月 大阪大学第二外科研修医

昭和 56 年 5 月 大阪通信病院（現 NTT 西日本病院）外科医員

昭和 58 年 7 月 大阪大学第二外科医員

昭和 62 年 6 月 多根総合病院外科医員

平成 1 年 2 月 多根総合病院栄養科部長

平成 4 年 3 月 多根総合病院外科部長

平成 10 年 10 月 多根総合病院外科部長兼日帰り手術センター長

平成 12 年 4 月 多根総合病院副院長兼日帰り手術センター長

平成 22 年 4 月 多根総合病院 院長（現在に至る）

#### 【学会役員・委員】

日本内視鏡外科学会評議員

近畿外科学会評議員

日本ヘルニア学会評議員・保険診療委員

日本短期滞在外科手術研究会常任幹事

大阪府医師会外科医会評議員



# 会 則

## 第1条 名 称

本会は、日本ヘルニア学会沖縄支部「沖縄ヘルニア研究会」と称する。

## 第2条 目 的

本会は、沖縄県における腹部ヘルニアの医療技術・学問的研究等の向上をめざし、よりハイクォリティなヘルニア医療を広く県民に提供して県の医療福祉に寄与することを目的とする。また、会員相互の情報交換、連携と親睦を図ることを目的とする。

## 第3条 事 業

本会は、目的を達成するために次の事業を行う。

原則として年1回以上の学術集会（研究発表会・講演会等）を開催する。

その他、本会の発展に必要な事業を行う。

## 第4条 会 員

1. 本会を構成する会員は、第2条の目的に賛同する医師・その他の医療従事者や研究者とし会員または賛助会員とする。
2. 会員は、本会事務局へ入会の手続きをとり、学術集会等の開催案内をうけることができる。

## 第5条（役員および任期）

1. 本会に次の役員をおく。

代表世話人 1名

世話人 若干名

会計 1名

監事 1名

2. 世話人会は、役員をもって構成し、会の運営を議し執行する。役員および世話人の選出は世話人会の了承を得て行われる。任期は2年とし、再任を妨げない。

3. 代表世話人は、世話人会により定められ本会を代表する。

代表世話人は、会務を総括し、年1回以上の世話人会を開催する。任期は2年とし、再任を妨げない。

4. 当番世話人は、世話人の中から選出され研究会の開催、運営をおこなう。

5. 会計担当世話人は、事務局長を兼任し事務局業務を総括する。

6. 役員は、日本ヘルニア学会会員とする。

## 第6条 事 務 局

本会の事務局は、当分のあいだ「社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院外科」に置く。

〒901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208

TEL：098-895-3255 FAX：098-895-5685

## 第7条 顧問、名誉会員

世話人会の推挙により顧問、名誉会員をおくことができる。

顧問は、本会の運営活動に対し実質的な参加が困難な指導的立場にあるものを推挙する。

名誉会員は、本会の維持、発展に貢献のあった世話人を推挙する。

## 第8条 会 費

1. 会費（1,000円）は、会の開催時に年会費（参加費を含む）として徴収し、一部を特別講師の謝礼等にあてる。
2. 賛助会員は、年会費として一口50,000円以上納入する。

## 第9条 会 計

本会の会計年度は、1月1日より12月31日とする。

本会の収支決算は、事務局長が会計年度ごとに行い監事の監査を受け世話人会で承認を得る。

## 第10条 会則変更等

会則の変更ならびに定められていない事項は、世話人会で討議し決定する。

## 第11条 細 則

1. 本会の運営は、日本ヘルニア学会沖縄支部「沖縄ヘルニア研究会」が主催する。
2. 本会の開催に当たり、当番世話人は次の業務を賛助会員に協力を要請することができる。
  - ・研究会開催に必要な労務、・プログラムの作成と会員への案内、
  - ・事務局代行業務、・その他
3. 賛助会員は、本会の開催に当たり広告・器械展示等を持って会の運営に協力するものとする。
4. 本会の開催時期は、原則をして2月頃とする。

附則：

- ・本会則は、平成25年11月1日より実施する。
- ・平成25年11月1日に第8条会費の条項を改定した。
- ・平成27年1月17日に第8条会費（2,000円）を（1,000円）に改定した。

## 役 員 名 簿

|           |      |                        |
|-----------|------|------------------------|
| 代表世話人     | 嵩原裕夫 | 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院   |
| 当番世話人     | 友利健彦 | 沖縄赤十字病院                |
| 世話人（50音順） | 新垣淳也 | 社会医療法人仁愛会 浦添総合病院       |
|           | 稲嶺 進 | 医療法人おもと会 大浜第一病院        |
|           | 卸川智文 | 社会医療法人敬愛会 中頭病院         |
|           | 兼城隆雄 | 特定医療法人沖縄徳洲会 南部徳洲会病院    |
|           | 金城隆夫 | 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター |
|           | 金城 僚 | 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター |
|           | 佐辺直也 | 琉球大学医学部附属病院 第一外科       |
|           | 平良勝己 | 医療法人祥杏会 おもろまちメディカルセンター |
|           | 仲地 厚 | 社会医療法人友愛会 豊見城中央病院      |
|           | 比嘉 聡 | 沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院      |
| 会計（事務局長）  | 福里吉充 | 沖縄県立中部病院               |
|           | 西原 実 | 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院   |
|           | 友利寛文 | 地方独立行政法人 那覇市立病院        |
| 監事        |      |                        |
| 顧問        | 西巻 正 | 琉球大学医学部附属病院            |
|           | 奥島憲彦 | 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院   |

# 企 業 一 覧

## 〈協賛企業〉

株式会社 沖縄メディコ  
アイティーアイ 株式会社

## 〈広告掲載企業〉

株式会社 八光  
株式会社 中央医療器  
株式会社 メディカルリーダース  
エム・シー・メディカル 株式会社

## 〈展示企業〉

株式会社 メディコン  
コヴィディエンジャパン 株式会社  
ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社  
オリンパス 株式会社

承認番号：21900BZX00941000  
単回使用ワイヤ・結さつ糸バサミ 管理医療機器

縫合糸誘導針

ラパヘルクロージャー<sup>TM</sup>  
LAPA-HER-CLOSURE

## 用途

腹腔鏡下小児鼠径ヘルニア手術（LPEC法）  
における縫合糸の誘導

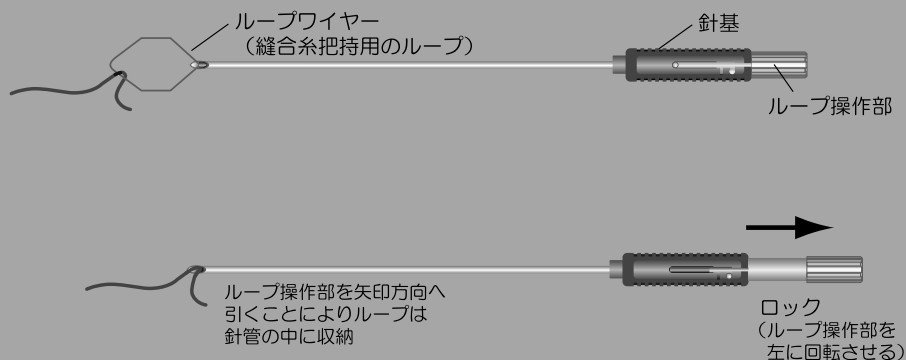
## 特長

- ラパヘルクロージャー（針管）の外径は19Gで、2-0サイズまでの縫合糸に対応します。
- 内針先端に縫合糸把持用のループ構造があり、簡単な操作で糸を把持することができます。また、把持の解除も容易です。
- 縫合糸を把持したまま経皮的に目標部位へ刺入できます。

LPEC法：腹腔鏡下経皮的腹膜外ヘルニア閉鎖術

## 使用方法

- 1 包装から製品を取り出し、プロテクターを外す。ループワイヤーは出た状態で包装されている。
- 2 縫合糸を把持した状態で穿刺する場合は、ループ内に縫合糸を通し、ループ操作部を手前に完全に引き、ループワイヤーを針管内に収納する。この状態で、操作部を左に回転させるとロックする。
- 3 適切な刺入位置より鏡視下にて針先を確認しながら慎重に刺入する。
- 4 体腔内で縫合糸の把持を解除する際は、針先が動かないように針基を固定し、操作部を右回転させてロックを解除してからゆっくりとスライドさせる。
- 5 再び体腔内で縫合糸を把持する場合は、鉗子で縫合糸を把持して、ループ内に縫合糸を通し、2.と同様の操作を行う。



## 仕様

| 製品コード     | サイズ                                 |
|-----------|-------------------------------------|
| 29110910  | 19G×130mm 把持用のループ径：0.21mm           |
| 29111030  | 19G×80mm 把持用のループ径：0.21mm            |
| 29111090* | 19G×130mm ベントチップタイプ 把持用のループ径：0.21mm |

## 包装形態

1箱5本入、 1本毎ピールオープン包装、 EOG滅菌済

「※」は特注品のため、在庫等につきましては最寄りの支店・営業所へお問い合わせください。

- ・本製品をご使用になる前に、必ず製品に添付されています医療機器添付文書をお読み下さい。
- ・医療機器添付文書には、製品の使用方法、使用上の注意などの重要な情報が記載されています。

## 販売窓口

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目42-6 NKDビル5階 ☎(03)5804-8500  
ホームページ <http://www.hakko-medical.co.jp/>

札幌 ☎(011)611-8580 | 横浜 ☎(045)954-2111 | 名古屋 ☎(052)914-8500 | 福岡 ☎(092)411-4100  
 仙台 ☎(022)257-8502 | 長野 ☎(026)276-3083 | 大阪 ☎(06)6453-9102 | 熊本 ☎(096)379-5806  
 柏 ☎(04)7147-8500 | 金沢 ☎(076)225-8560 | 岡山 ☎(086)243-3985 | 本郷商品管理センター  
 本郷 ☎(03)5804-8500 | 静岡 ☎(054)282-4185 | 松山 ☎(089)935-8517 | ☎(03)5840-8502

## 製造販売

株式会社 八光  
メディカル事業部

hakko

〒389-0806 長野県千曲市大字磯部1490番地

# VISERA ELITE II

## 3D Imaging Solution

### VISERA ELITEII imaging system



|                  |                     |
|------------------|---------------------|
| ビデオシステムセンター      | OTV-S300/S200       |
| カメラヘッド           | CH-S200-XZ-EA / EB  |
| ENDOEYE RIGID 3D | WA50080A / WA50082A |
| ENDOEYE FLEX 3D  | LTF-S300-10-3D      |
| 3D4Kモニター         | LMD-X310ST/X550ST   |

### IR System

|             |                     |
|-------------|---------------------|
| IR専用高輝度光源装置 | CLV-S200-IR         |
| IR専用テレスコープ  | WAIR100A / WAIR130A |

## <THUNDERBEAT/SONICBEAT>

外科手術用エネルギーデバイス

ドクターに  
手の延長として  
使ってもらえるデバイスを



**株式会社中央医療器**  
ALL KIND OF MEDICAL INSTRUMENT

# TiLENE®

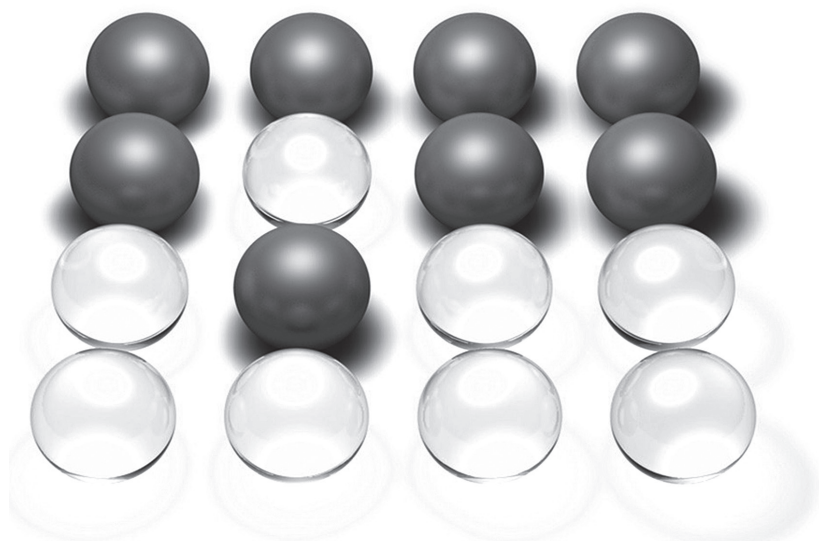
鼠径ヘルニア修復用メッシュ

## 新素材

### チタンコーティングメッシュ

生体適合性: 患者様の術後QOL向上に貢献することを期待して、従来のポリプロピレンにチタンをコーティングしました。

更なる軽量化: ライトウェイト (35g/m<sup>2</sup>) に加え、エクストラライトウェイト (16g/m<sup>2</sup>) もご用意しました。



販売名: タイレーン メッシュ  
承認番号: 22200BZX00830000

## ■ 製造販売元



株式会社メディカルリーダーズ

第一種医療機器製造販売業許可番号: 13B1X00172

本社・東京営業所

〒113-0034 東京都文京区湯島4-2-1 杏林ビル

TEL: 03-5803-9271 FAX: 03-5803-9275

<http://www.leaders.co.jp>

## ■ 製造元

pfm medical titanium gmbh (ドイツ)

**pfmmedical**

Quality and Experience



TO 58 1.0 08/2016/A-JP

**IMAGE1 S**

IMAGE1 S – as Individual  
as Your Requirements

- Rigid endoscopy
- Flexible endoscopy
- 3D endoscopy
- Fluorescence imaging



M C M E D I C A L

KARL STORZ GmbH & Co. KG, Mittelstraße 8, 78532 Tuttlingen/Germany [www.karlstorz.com](http://www.karlstorz.com)

エム・シー・メディカル株式会社 〒108-0075 東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー 12F

[www.mcmed.co.jp](http://www.mcmed.co.jp)

**STORZ**  
KARL STORZ – ENDOSKOPE  
THE DIAMOND STANDARD





